

パン、菓子製造業における階段、栈橋を起因物とする死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
1	10~11	階段を踏み外し、踊り場まで階段を10段ほど滑り落ち負傷した。	53	100~299
2	16~17	工場の外に番重を出す作業のため階段を使用して屋外に出る際に階段で足を踏み外して転倒した。転倒時には両手に何も持っておらず、右手と側頭部を打撲した。	51	100~299
2	16~17	第3工場給袋包装機3号機で、半製品投入部の清掃を終了し、踏み台を後ろ向きで降りた際、足を踏み外し転倒した。転倒した際、オリコンを置く枠に右腹部をぶつけた。	63	100~299
3	19~20	業務が終わり帰宅するため、建物内の階段を下りる途中で私物の携帯電話に着信が入り、その着信に気を取られているうちに足を踏み外してしまい、階段から転落し負傷した。	61	50~99
3	7~8	2階資材庫から1階工場へ、約3kgのビニール袋を右手に持ち階段を下りようとしたときに、滑って転倒して尻・腰・首を打撲した。	43	500~999
3	2~3	機械上部に生地投入機、投入口で生地が詰まり、その生地を取るため、可動式三段ステップの階段を生地の詰まった部分横に設置し、最上部まで上りしゃがんだ姿勢で生地を取り除く作業をしていたところ、生地を引っ張った勢いで足が階段から滑り、右側の脇腹を強打し床へ落下した。	61	—
		終業後、着替えを終え帰る際、階段で足を踏み外し転倒した。階段は全9段ある		100

4	8~9	が、目撃者がいないため何段目から足を踏み外したかは不明である。	73	~ 299
5	14~ 15	商品センターの鉄骨倉庫3階から、折りたたみである新ダンボール箱（86cm×68cm、約900g）×5枚を抱えて階段を下りた際、足元が見にくい状態だったこともあり、2階に着く一段上で左足首を捻ってしまい、そのはずみで転んで右手首と右胸を強打した。時間が経てば治ると思っていたが、その後も痛みが引かなかった。	52	~ 300 499
7	7~8	帰宅しようとして事務所稲沢側階段を下りる際に階段を踏み外し、落下（3階より、真ん中にある踊り場まで落下）。本人の意識はある状態であったが、落下の際に頭、右腕を打ったと思われる（階段を下りる際に手すりは持っていなかった）。	19	~ 300 499
7	16~ 17	アイス製造充填機の階段を、空のアイススティックケースを持ちながら降りる際に転倒し、腰（左後背部）をぶつけてしまった。	20	~ 300 499
9	18~ 19	ケース出し作業中に走り、その際左足ふくらはぎあたりに少し痛みを感じた。作業終了後、作業をしていた横の階段に登ろうとした時に、左足ふくらはぎに激痛が走り動けなくなった。	51	~ 300 499
10	12~ 13	終業後に2階の更衣室で着替えて退社する際、階段で一階へ下りる時に滑って足をひねり、左足首の靭帯を損傷した。	56	10 ~ 29
11	12~ 13	昼の休憩が終わり3階から2階の仕事場に戻る時、階段で足を踏み外し、3~4段右側を下に滑り落ち右肩などを負傷した。	52	50 ~ 99
12	13~14	来客対応の際、3階事務所より階段を下りている時に清掃作業をしていた為、床が濡れており足を滑らせて転倒し負傷したものである。	42	10 ~ 29

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to：https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_11.html

